

## 廃屋利用で環境開発

夢のような話を実現したくて本気で考えました。

新聞に、所有不明地利用拡大という見出しで、公共目的、備蓄庫や再エネ発電に利用できるようにしたいとありました。

実は、所有権は兄を代表に姉妹にありますが、草や木が生い茂り、買い手がなくて困っている廃墟つき土地があります。高崎山の裏になり別府浜脇から7分、狭間から10分位です。正式には286坪くらいです。あの手この手で動いてはいるのですが、なかなか処分できず、困り果てているのです。ソーラーを張ってはとも考えました。

樹木が高いため、光を遮りだめでした。資材置き場とかの利用はできると思います。

国がこんな困った土地を買い取り、保養所・老人ホームなどを建て国民に提供してくだされば良いのにと考えています。

大分県だけでなく、各県とも、こんな所有者不明、所有者はわかるが廃墟同然の土地がかなりあると想像いたします。これらを有効利用してほしいと訴えたいと思います。



(メールに記載されていたコメント)

8/30

建コン九州支部事務局様

実現したくて真剣取り組みたい願いです。

夢、あの廃屋が何かに利用していただけるなら、

40年も前に住んでいた今はなき母も喜ぶと思います。

山小屋風のピザ店も考えました。何せ、相続代表の兄も姉妹も高齢ですから、

人に託すしかなく、今までほおってありました。

樹木に囲まれ家がみえなくなっている土地でも、何かに役立たせ、

環境改善できないかなと思います。

夢のような話で個人的かもしれませんが、保養所がたつとか実現したら、

心ははじけると思います。夢アイデアに縋りつきたい思いの応募です。

8/31

建コン九州支部事務局様

ご連絡いつもありがとうございます。

毎年、“夢のような話を、本気でしよう。夢アイデア作品募集“

のご案内が参りますと脳がフツフツ回転をはじめます。

考えることにより元気も出ます。うれしい企画なのです。

本年もよろしく願いいたします。

コロナ感染等により、ご苦勞も多いかと思われます。

ご健康をお祈り申し上げます。